



戦争は人の心の中で生まれるものであるから、人の心の中に平和のとりでを築かなければならない。

2025.8.15 「平和の鐘を鳴らそう！」行事



戦後80年となった8月15日（金）、芦屋ユネスコ協会主催（共催：芦屋市・芦屋市教育委員会）の「平和の鐘を鳴らそう」を、芦屋市民センターを会場に開催しました。

「式典」では、山中会長が「戦争で大きな代償を払って得た平和を、必ず後世に伝えていかななくてはならない」とあいさつ。高島市長は「平和は黙っていれば得られるものではない。一人ひとりが平和を求めて行動してこそ、平和は実現できる」と強調されました。そして、正午の合図とともに戦争犠牲者に黙祷を捧げ、参加者70名がそれぞれに平和への祈りと願いを込めて“優愛の鐘”を鳴らしました。



戦後80年及び
非核平和都市宣言40周年 記念事業



心の中に「平和のとりで」を築き続けていくために…

「平和のつどい」では、80年前の夏に思いを馳せ、また「明日の平和」を祈りつつ開催しました。最初のプログラムは、原爆投下から80年、この夏復刻された寺尾知文さんの幻のきり絵絵本「きり絵画文集 原爆ヒロシマ」を、あおぞらカンパニーが朗読劇にしたものを鑑賞しました。

次のプログラムは、市内にお住いの原爆被害者の会会長・千葉孝子さんから3歳で被爆した経験から、「核兵器が存在する限り、地球の安全な未来はない」と訴えました。

3番目のプログラムは、この夏広島で体験学習をしてきた甲南高校3年生の松本康平さんと濱野真裕さんからの報告。「私たちの世代が自ら情報を集め発信し、自分事として捉えることが大事」と話しました。今後、伝達者の一人として活躍されることにを期待したいと思います。

最後に、3年前にウクライナから避難してきた美術家のユリア・ボンダレンコさんが講演。「神様にお願いします。大きな平和の鐘を鳴らしてください。私たちも平和の鐘を鳴らしました。これが祈りとなり、世界中に響き渡りますように」と訴えました。



2025 世界遺産見学バスツアー

世界文化遺産 — ゆったり醍醐寺・下鴨神社めぐり

世界遺産条約は1972年にユネスコで採択され、2023年10月時点では195か国が締結しています。日本も1992年にこの条約を締結し、文化遺産及び自然遺産を人類全体のための世界の遺産として損傷・破壊等の脅威から保護し、保存することが重要であると考え、国際的な協力・援助体制の構築に貢献してきました。

古都京都（京都市、宇治市、大津市）は1993年に推薦を、1994年に世界遺産（世界文化遺産）に記載されました。その構成資産は、賀茂別雷神社（上賀茂神社）、賀茂御祖神社（下鴨神社）、教王護国寺、清水寺、延暦寺、醍醐寺、仁和寺、平等院、宇治上神社、高山寺、西芳寺、天龍寺、鹿苑寺、慈照寺、龍安寺、本願寺、二条城となっています。

今回は、その世界遺産の中から、下鴨神社（左京区）・醍醐寺三宝院庭園（伏見区）を、現地解説付きで見学します。



◆日時 11月7日(金)
8時45分(発)～
16時50分(帰着)

◆集合 午前8時30分にホテル竹園ロビーへ

◆コース 8時45分・芦屋出発⇒10時15分・下鴨神社（十二人と王朝の舞鑑賞と神様の台所大炊殿）⇒12時～13時30分・黄桜伏見蔵で昼食・日本初の日本酒醸造と地ビール蔵を見学・お買物⇒14時50分・醍醐寺（三宝院庭園）⇒16時50分・芦屋（解散）

◆参加費 13,000円(交通費・昼食代・入館料・ガイド料等含む)《当日徴収》
※ただし、9月31日(金)以後にキャンセルされた場合は、後日精算をお願いします。

◆申し込み **9月19日(金)必着**で、同封の「申込書」に必要事項を記入し下記へ<先着25名>

- ①ファクス 芦屋ユネスコ協会(事業部会) **0797-38-5330**
- ②メール 芦屋ユネスコ協会(事業部会) minami.y1950@gmail.com
- ③郵送 〒659-8501 芦屋市社会教育推進課内 芦屋ユネスコ協会事務局

問い合わせ 芦屋ユネスコ協会 090-1137-0263(事業部会長・南 ゆう子)



◆恒例の「民間ユネスコ運動の日」街頭キャンペーンを、今年も7月19日(金)にJR芦屋駅周辺で実施しました。会員・理事ら20名は4か所に分かれて、キャンペーングッズの“うちわ”400枚を配布。

猛烈な暑さの中、“うちわ”を受け取った皆さんに、少しばかりの“涼”とユネスコ活動をお届けできたのでは…と感じています。



◆秋は、「世界遺産見学バスツアー」の他にも、「阪神間ユネスコ協会連絡会合同事業(12/9)」広域事業が続きます。

◆また、「年末講演会 & 親睦会」を、今年も“ホテル竹園”を会場に開催します。12月16日(火)午後6時から開会の予定で、現在準備中です。詳細のご案内は、次号でお知らせします。